

第1学年 英語科学習指導案

日時：平成23年11月11日（金）5校時

学級：花巻市立東和中学校1年3組

（男子17名 女子14 計31名）

授業者：大庭拓也

場所：1年3組教室

- 1 単元名：Speaking Plus 3 電話の会話 — 電話の応答、招待する
(New Horizon Book 1)

2 単元について

(1) 題材観

本単元は、学習指導要領外国語2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (イ) 「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しくつたえること」にあたり、「電話での応答」を実際の使用場面として言語活動を行わせるものである。

今回、「電話での応答」は初出である。話したい相手が直接電話に出た場合の基本的なやりとりを学び、相手を招待する対話を学ぶ。電話での特殊な状況と電話特有な表現を理解させ、これまでに学習した運用度の高い語、連語、慣用表現や、現在進行形等の文構造を関連させて定着を図りたい。この単元はBook 2 Speaking Plus2 「電話での応答 <取り次ぎをたのむ> (May I speak to Mike, please?)」につながる。

(2) 生徒の実態

小学校外国語活動を経験し、口頭での言語活動に対する意欲が高い生徒たちである。音読を大きな声で行うことができる。「話すこと」に積極的であり、表現しようとする意欲が感じられる。

1学期には英語の音や文字について指導してきたが、個人差が出てきている。音読等により音声のインプットを続けること、生徒の理解度や作業速度の差を想定したプリント活用をすることに留意して指導を続けている。

(3) 指導の構想

本単元では現在進行形の使い方を理解しつつ、簡単な電話の応対が口頭でできることを目指す。形式的な応対の仕方を学びつつ、初めて対話する相手にも対応できるようにさせたい。そのねらいを達成するため、生徒一人ひとりに伝えるべき内容を与え、内容を伝える英語表現を考えさせることにするが、必要な語やその発音を想起させるためにグループを活用したい。また、ペアでメッセージのやりとりを経験させる。さらには終末段階でALTとの実際の会話をさせ、電話応答をしようとする意欲をたかめ、本校が目指す「確かな表現力」の育成をめざしたい。

3 単元の目標

電話での対応で、相手を招待したり誘ったりする対話ができる。

4 単元の評価規準

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ①本文を積極的に読もうとする。
 - ②ペアワークにおいて、間違ふことをおそれずに話している。
- (2) 外国語表現の能力
- ① Hello?で始まる電話の応対文を用いて、相手を招待できたり、誘ったりすることができる。
 - ②強調する部分と発音に注意して音読することができる。
- (3) 外国語理解の能力
- ①相手からの提案に対して、招待を受ける・受けないの応答ができる。
- (4) 言語や文化についての知識・理解
- ① Hello?で始まる電話での応答文で使われる表現をしている。
 - ②誘う側の表現を理解している。(Let's play tennis at Wakaba Park..等)
 - ③誘いを受ける側の表現を理解している。(OK. Yes, let's.等)

5 単元の指導と評価の計画 (3時間 本時 2/3)

| 時間 | ○ねらい ・学習活動 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|-----------|---|--------------------------|------------------------|
| 1 | ○ 電話での応答で話したい相手が電話に出た場合の簡単なやりとりができる。 ・ Hello. This is Lisa. Oh! Hi, Lisa 等のやりとりを理解する。 ・ p.80-81 の場面及び表現を理解する。 | (4) の ①、②、③ (1) の① | 行動の観察 後日ペーパーテスト |
| 2 (本時) | ○ 電話で相手を招待したり、誘ったりする対話ができる。 ・ 与えられた場面、内容についてグループで応答に必要な表現等を想起する。 ・ ペアで電話応答の練習をする。 ・ ペアを変えながら電話応答をし合う。 | (1) の② (2)、(3) | 活動の観察 |
| 後日 | <ペーパーテスト> ◇ 場面を与えて適切な対話を書く問題 | (4) の①、 ②、③ | ペーパーテスト |

6 本時の指導

(1) 本時の目標

電話で相手を招待したり、誘ったりする対話を行うことができる。

(2) 評価の観点及び具体の評価規準

| 評価の観点 | 具体的評価規準 B：概ね満足できる | 努力を要する生徒に対する支援 |
|---------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | ペアワークにおいて、間違いをおそれずに話している。 | 机間指導において個別指導をし励ます。 |
| 外国語表現の能力 | グループ内で検討した表現メモを見ないで相手と応答ができる。 | 各ペアの必要に応じて段階的にヒントを与え個別指導の充実を図る。 |
| 外国語理解の能力 | 相手からの招待、誘いの内容を理解し、適切に応答している。 | 他のペアを観察させ、意味確認のうえ模倣させる。 |

(3) 本時の展開

| 段階 | 学習過程 | 生徒の学習活動 | ・留意事項、◎評価、☆「確かな表現力」につなげる手だて |
|-----|--------------------------------|--|---|
| 15分 | 1 あいさつ 2 Warm up 3 前時の復習 | ・曜日、日付、天候 ・英語係によるQ&A ・新出単語の確認 ・p.80-81の対話を音読する。(一斉読み、ペア読み) | ・時間をかけないこと。 |
| | 4 学習課題の把握 | 英語で電話をかけて、友達をパーティ、スポーツなどに誘おう。 | |
| 展開 | 5 モデル文の一部置き換え練習をする。 | p.80-81について、次の部分を教師のキューに従って置き換え口頭練習をする。 Are you free on <u>Saturday</u> ? (曜日の置き換え) How about <u>noon</u> ? (時間の置き換え) Let's <u>play tennis</u> on Sunday. (動作の置き換え) <u>Yes, I am free.</u> (断る場合の置き換え) | ・生徒の理解度に応じ「英語のキュー」、「日本語のキュー」を出していく。 ・展開6ではこの置き換えによりオリジナル対話をつくっていくことを生徒に知らせる。 |
| | 6 電話の場面を与え、その表現を考えさせる。 | ① ワークシートを用いて、与えられた場面について必要な語、文をペアで調 | ・巻末 Word list や辞書を使って良いことを知らせる。(自分で調べる方法の指導) |

| | | | |
|-----|-----------------------|--|--|
| 30分 | 7 グループ代表同士1組で会話を例示する。 | <p>べる。</p> <p>② 4人グループで読み合い、それぞれの疑問点等を吟味し合う。</p> <p>③ グループ内ペアで対話練習をする。</p> | <p>・表現の想起だけでなく、発音についても教え合わせる。</p> <p>◎電話応答練習に意欲的に取り組んでるか観察する。</p> <p>◎ Hello?に始まる電話応答パターンを使えるか観察する。</p> <p>☆友達とのやりとりで気づいた表現についてメモを取らせる。</p> |
| | 8 ペア発表 | <p>初めての相手同士の会話を見て、次のペア活動のイメージを持つ。</p> <p>展開6のグループ以外の人とペアで電話応答する。</p> | <p>・「何も見ないこと」「感情を込めること」「聞き取れなかったことを聞き返すこと」などを確認する。</p> <p>◎「メモを見ずに話せたか」「英語のやりとりについて内容が合っていたか」などについて確認する。</p> <p>☆生徒にも自己評価させる。</p> <p>・誘いを受ける場合と断る場合の対話をする。</p> |
| 5分 | 9 確認と次時予告 | 評価表に今日のポイントと振り返りを記入する。 | ・本時に学んだ内容を振り返られているかを確認する。 |